

平成26年度合格体験記

自分を信じて

頌栄短期大学 保育学科 女子 (29 回生)

私は2年と3年の夏に頌栄短期大学のオープンキャンパスに行きました。始めていった時から雰囲気落ち着いていて良い所だなと思っていましたが、私にはレベルが高すぎると決めつけて選択肢から外していました。

3年の夏、私は大学選びにとっても悩んでいました。短大に行きたいのか専門がいいのか迷いに迷って、先生に助けを求めたら「自分が最初に良いと思った場所が合ってると思うよ」と言われ、私は頌栄に行こうと決めました。

その日から、ピアノ初心者の私は放課後に音楽室に行ってピアノの練習を始めました。楽譜に音を書いて何度も何度も弾きました。分からない場所は一緒に練習していた友達に聞きました。次第に課題曲をスラスラと弾けるようになり、とても嬉しかったのを覚えています。

私は先生、友達が支えてくれたおかげで、頑張ろうと思えました。「私なんて・・・」と、出来ないことをそのままにしておくのではなく、分からなかったら相談したりして、ちょっとずつ頑張ってみてください。すべてを一度にやろうとすると続かないと思うので、1つ1つ、コツコツと積み重ねることが大事だと思います。頑張ってください。

時間を大切に

京都光華女子大学 健康科学部 看護学科 女子 (29 回生)

私が受験勉強を始めたのは、テニス部を引退した5月になってからです。かなり遅かったと思います。2年生の終わりに助産師になりたいという夢を見つけ、看護学部を志望しました。しかし、それまで勉強というものをしてこなかった私は何をすればいいのか分かりませんでした。とりあえず苦手な英語を克服しようと思いました。英語は中学の時点から理解できていなかったもので、本当に基礎の基礎からのスタートになりました。毎日放課後に、文法を先生に1つ1つ教えていただき、勉強していました。私は塾には通わずに学校で遅くまで勉強していましたが、よく知っている先生方なので質問もしやすいし、学校全体が受験生を応援してくれていたのも、安心して勉強に取り組むことができました。

受験勉強を始めて、私は今まで多くの時間を無駄に使っていたことを実感しました。休み時間、行き帰りのバスなどでケータイを見ている暇があったら、その時間で英単語を少しでも覚えればよかったと思いました。特に部活をしている人は体力的にもしんどいかも知れませんが、5分でも10分でも時間を見つけて勉強することがとても大事だと思います。

目標としていた助産師の資格の取れる大学に合格できましたが、正直もっと勉強したかったです。3年生になってからでは時間が足りません。なので、授業で習ったことは分からないところがないように日々勉強したり、先生に質問することが大切です。

私は本当に多くの人に支えていただき、受験を乗り切ることができました。甲山高校はやる気のある生徒を全力でサポートしてくれる学校なので、これから受験を迎える人も頑張ってみてください。

合格体験記

神戸女子大学 文学部 教育学科 女子 (29 回生)

私が真剣に「大学受験」と向き合うようになったのは、高2の冬でした。このときに志望校を完全に決めて、本格的へいに勉強を始めました。はじめの頃、私はあまり勉強する習慣がついておらず、何から始めればいいのかも分からない状態でした。学校のテスト期間の時も、きちんと計画を立てずに勉強していたので、今日はこれをして、明日はこれというように計画を立てて勉強をしました。

夏休みは時間がたくさんある分、集中力が途切れてしまうこともありましたが、学校に残って一緒に勉強している友達と励まし合っていました。

毎日勉強している中で、模試で思うような結果が出なかった時は本当に不安で、目に見えないプレッシャーに押しつぶされそうになったこともありましたが、「ここで諦めたら今までの努力が水の泡だ、もっと自分は頑張れる」と自分に言い聞かせました。

入試の日には今まで使い慣れた参考書を持って行き、自分が今まで勉強してきたことを思い出して、当日に臨みました。受験は正直、辛いことだらけで何度もやめたいと思いましたが、自分を支えてくれている人たちの顔を思い出し、自分を奮い立たせ、日々頑張ってきました。その結果こうして合格できたのも、家族をはじめ、先生方、友達など多くの人のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。結果は、頑張った分必ずついてきます。みなさんも、努力すればきっと希望の大学へ合格できると思います。あと、体調管理には十分に気をつけてくださいね。最後まで諦めずに、突っ走ってください。

夢へ向かって

兵庫県警 警察官 男子 (29 回生)

私は4月から芦屋にある兵庫県警察学校に行くことが決まり、長年の夢であった警察官になる事が出来ました。私は小さい頃から人の役に立つ事がしたく、この警察官という仕事を強く思うようになり、いつしか私の夢になっていました。しかし、警察官という仕事はなりたいと思う気持ちだけではなれません。私は、小さい頃から勉強が苦手で、逃げて逃げて逃げまくってしていました。高3の夏、部活動も引退して進路を決める時、力試しに警察官の模擬試験を受けたのですが、結果はE判定……。散々な結果でした。しかし、なぜか諦める気持ちにはちっともなれなかったのです。それは、私の夢だったからです。将来人のために働き、みんなの笑顔を守りたいという強い気持ちが私を奮い立たせてくれたのではないかと考えています。その次の日から死にものぐるいで勉強しました。1日の半分以上を勉強に費やし、友達からの遊びの誘いも断り、勉強ひと筋の夏休みを過ごしました。その成果が出たのか、無事に筆記テストを合格し、最終の面接も乗り越え、こうして警察官として働けることに幸せを感じています。

この幸せを感じられたのも、勉強を夜遅くまで教えていただいた先生方、遊びの誘いを断った私に対しても優しく、支えになってくれた友達や両親にほんとうに感謝しています。そして今思うのは夢に向かって進む強い気持ちです。どんなに他人に笑われ、ののしられても、自分の夢を最後まで諦めず貫き通す強い気持ちがあれば必ず夢は叶うと私は思います。まだ夢が無いか、迷っているという人は、少し大きな目で周りを見てください。自分の興味を引く物がきっと見つかるはずですよ。もしそれが見つかったら、それに向かって真っ直ぐ突き進んでください。きっと良い未来が待っているはずですよ。微力ですが少しでもこれを読んで考えてくれたらありがたいです！応援しています！